

2008年11月4日

**SPring-8 利用者懇談会第 II 期研究会**  
**「物質における高エネルギー X 線分光研究会」 第 2 回会合議事録**

研究会代表：寺澤倫孝・伊藤嘉昭

SPring-8 利用者懇談会第 2 期研究会「物質における高エネルギー X 線分光研究会」の第 2 回会合を 11 月 1 日、午後 1 時 30 分～4 時 00 分、東京国際交流会館 4 階第 5 会議室にて活動状況報告などを含めて実施した。内容は下記の通りである。

出席者（敬称略）：寺澤、伊藤、福島（物材機構）、藤井（岡大）

議題：情報交換および研究会活動方針の議論

- 1) 活動状況報告
- 2) 2 結晶 X 線分光技術の産業利用への展開について
- 3) 2009A 課題申請

議事

1) 活動状況報告（世話人代表 寺澤）

- 5月30日： SPring-8 利用者懇談会第 2 期研究会への「物質における高エネルギー X 線分光研究会」の参加が評議会において承認された（通知）。
- 6月26日： 2008B 共用ビームライン利用一般公募研究に本研究会より 3 件応募。
- 8月20日： 2008B 応募研究課題 3 件不採用となる。
- 8月22日： 第 1 回研究会会合、SPring-8 JASRI 管理棟特別会議室にて開催。  
朽尾（㈱けいはんな）、福島（物質・材料研究機構）、山岡（理研）、藤井（岡山大）、村松（兵庫県立大）、二宮（SPring-8）、伊藤（京大）の 7 委員講演。  
講演の PPT 原稿をまとめて編集し、現在印刷中。
- 9月1日： 寺澤、伊藤が SPring-8 JASRI にて二宮委員に 2 結晶分光器を設置すべきビームラインを相談。利用研究の主たる目的を産業利用とすることで、BL19B2 ビームライン C ハッチを候補として、SPring-8 産業利用研究コーディネーター室長の渡辺氏に後日依頼することにする。
- 10月21日： 二宮委員より競争的資金研究があれば、優先的に産業利用研究に採用される可能性があり、ビーム強度の強い BL46XU の方を利用するべきとの提案があった。
- 10月22日： 産業利用研究コーディネーターの渡辺、広澤、二宮各氏と会談、BL46XU への 2 結晶 X 線分光器設置を依頼し、了承される（寺澤、伊藤、朽尾）。分光器はマシンタイム時に設置し、終了後は取外す必要があり、常駐できない問題は

解決していないが、現状では止むを得ないと判断した。

10月30,31日：第12回 SPring-8 シンポジウムにて講演（伊藤）、ポスター発表。

2) の産業利用技術については、われわれが有している2結晶X線分光技術を現在伊藤が行っている(株)福寿園との茶葉中に含まれる金属元素の分析や日鉱金属(株)の銅中の不純物元素の同定などで実績を挙げていくことを先ずおこなう。基礎科学の研究のことも常に意識しておく。企業における産業利用に対する意識と研究者の産業利用に対するそれとは直接には関係しない場合もあるが、われわれの技術の産業利用への適用を常に十分に考慮する必要がある。

3) ついては、申請をするにあたり、産業利用目的のビームラインなのでその点を考慮した内容にする。BL46では申請課題の30%近くを大学関係者が申請しているのが現状とのことなので、研究会の大学関係の委員にも課題申請をするを勧める。

以上